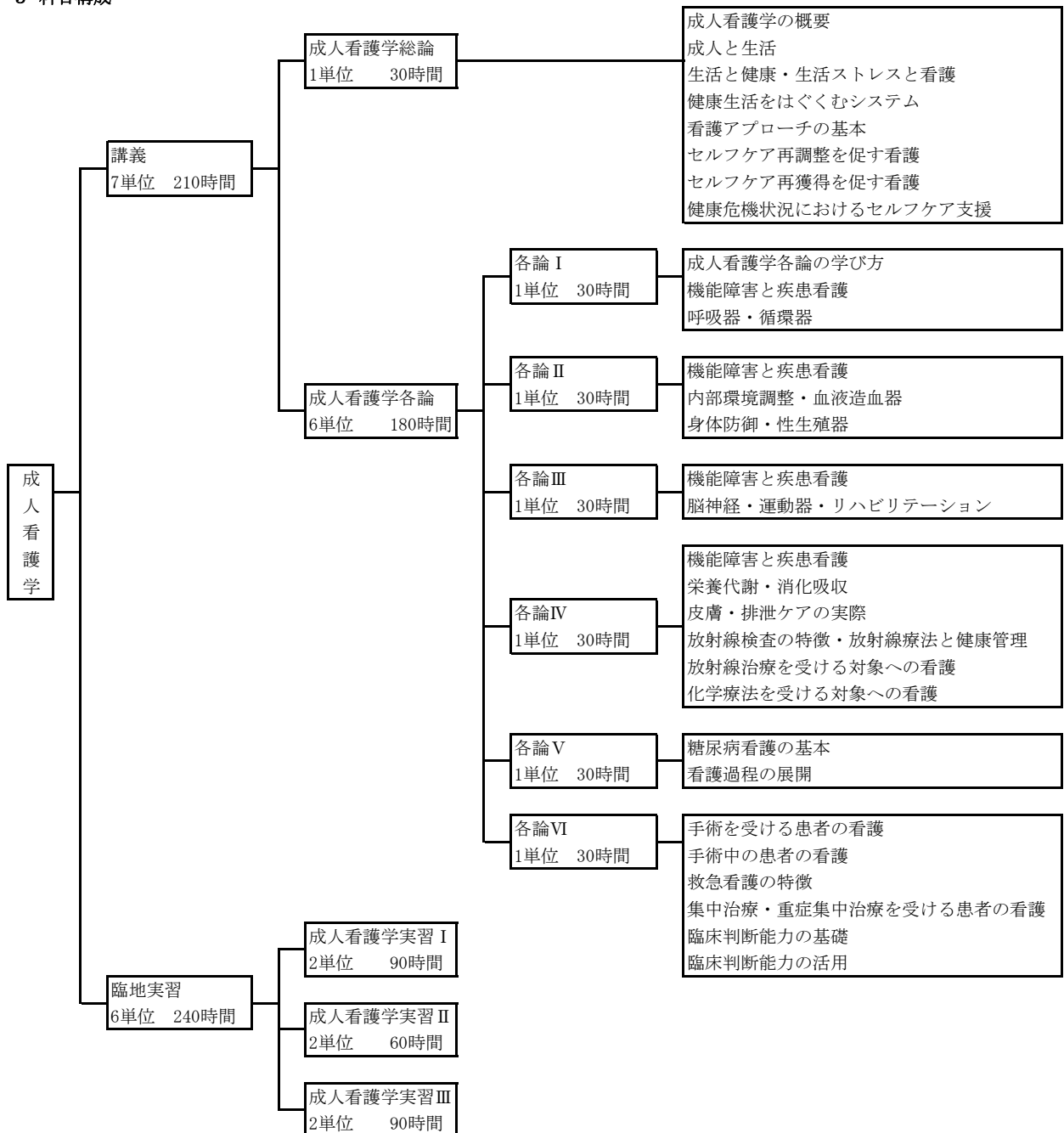


<専門分野>

成人看護学

- 1 目的：** 成人期にある対象の特徴と健康の維持・増進の重要性を理解し、健康上の諸問題を統合的に捉え、問題解決の方法を学習し、個々に応じた看護ができる能力を身につける。
- 2 目標：**
- (1) ライフサイクルにおける成人期の位置づけを明確にし、そのステージの成人がおかれておる生活環境を踏まえて成人看護の役割を理解する。
 - (2) 機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、症状への看護の方法を理解する。
 - (3) 健康障害をもつ対象の治療・処置に対する看護を学び、各疾患に対する看護の方法が理解できる能力を養う。
 - (4) 健康の保持・増進の重要性を理解し、健康上の諸問題を捉え、問題解決の方法に基づいた援助ができる能力を養う。
 - (5) 成人期にある対象を総合的に捉え、その健康特性を理解し、対象と家族の問題を踏まえ、個々に応じた看護を展開できる能力を身につける。

3 科目構成



授業 科目	成人看護学総論	担当 教員	専任教員☆① 外部講師☆ ②木村 ゆかり ③日浅 友裕	単位数	1	時期	1年次 7月～
				時間数	30		
<p>目的：ライフサイクルにおける成人期の位置づけを明確にし、そのステージの成人がおかれている生活環境を踏まえて成人看護の役割を理解する。</p> <p>目標：1) 成人期の対象を理解する。 2) 成人期の発達段階と特徴について理解する。 3) 成人のもつ健康問題の多様性について理解する。 4) 成人保健の動向と保健・医療対策を学び、保健・医療・福祉チームの一員としての看護の役割を理解する。</p>							
回数	学習課題	内 容		方法	担当教員		
1	成人看護学の概要	成人看護学の概念と構造 対象の理解 成人各期の発達課題 生涯発達の特徴		講義	専任教員		
2	成人と生活	成人期の発達課題の特徴 対象の生活 働いて生活を営むこと		講義			
3	生活と健康	成人を取り巻く環境と生活からみた健康 成人の健康の状況		講義			
4	生活ストレスと看護	健康バランスに影響を及ぼす要因 生活行動がもたらす健康問題とその予防		講義			
5	生活と健康をまもりはぐくむシステム	健康増進・生活習慣病対策（健康日本21等） 保健・医療・福祉システムの連携		講義	木村		
6	健康生活をはぐくむ看護	健康生活をはぐくむ看護 ヘルスプロモーション 健康をはぐくむ看護の場と活動		講義			
7	看護アプローチの基本	生活の中で健康行動を生み、はぐくむ援助 大人の健康行動を促進する看護アプローチ 人々の集団における調和や変化を促す看護アプローチ 看護実践における倫理		講義	日浅		
8	セルフケア再調整を促す看護1	慢性的な健康状態の揺らぎと慢性病 セルフケア		講義			
9	セルフケア再調整を促す看護2	慢性病との共存の過程を支える看護 慢性病患者への看護技術		講義			
10	セルフケア再調整を促す看護3	退院をめぐる医療制度の動向 患者・家族にとっての退院の意味 退院調整活動		講義			
11	セルフケア再獲得を促す看護1	生活行動レベルとセルフケアアセスメント セルフケア再獲得を促すための人的・法的支援		講義			
12	セルフケア再獲得を促す看護2	障害を持つ人とリハビリテーション 障害を持ちながら生活する人を支援する看護		講義			
13	健康危機状況におけるセルフケア支援1	健康の急激な破綻 急激な健康破綻をきたした人の看護		講義			
14	健康危機状況におけるセルフケア支援2	終末期患者の全人的な痛みの理解と援助 終末期患者の家族への援助 人生最後のときを支える看護		講義			
15	まとめ・試験				専任教員		
評価方法		筆記試験					
参考文献と資料		テキスト：成人看護学総論 成人看護学（1）（医学書院） 国民衛生の動向（厚生統計協会）					
事前準備や受講要件等							
☆担当教員の実務経験		①看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ②保健師として医療機関や行政機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ③がん放射線療法看護認定看護師・がん看護専門看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。					

授業 科目	成人看護学各論 I	担当 教員	専任教員☆①③ 外部講師☆ ②看護師 ④慢性心不全認定 看護師	単位数	1	時期	1 年次 1 1 月～
				時間数	30		
<p>目的：機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、セルフマネジメントを必要とする人の看護の方法を理解する。</p> <p>目標：1) 呼吸機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、看護の方法を理解する。 2) 循環機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、看護の方法を理解する。</p>							
回数	学習課題	内 容			方法	担当教員	
1	成人看護学各論の学び方	機能障害別の看護と疾患別看護			講義	専任教員	
2	呼吸機能障害 1	呼吸機能とその障害			講義	専任教員	
3	呼吸機能障害 2	換気障害・拡散障害・肺循環障害			講義		
4	呼吸機能障害 3	呼吸困難の要因と関連要因・アセスメント・看護			講義		
5	呼吸機能障害 4	咳嗽・痰（血痰・喀血）の成因とメカニズム・アセスメント・看護			講義		
6	呼吸器疾患を持つ患者の看護 1	呼吸機能障害の治療に伴う看護 1（胸腔鏡下手術・肺切除術・気管支視鏡検査）肺がん			講義	看護師	
7	呼吸器疾患を持つ患者の看護 2	呼吸機能障害の治療に伴う看護 2（胸腔ドレナージ・呼吸リハビリテーション）肺炎 結核 気胸			講義		
8	呼吸器疾患を持つ患者の看護 3	呼吸機能障害の治療に伴う看護 3（人工呼吸療法・在宅酸素療法）慢性閉塞性肺疾患（COPD）呼吸不全			講義		
9	循環機能障害 1	循環機能とその役割・障害			講義	専任教員	
10	循環機能障害 2	胸痛の要因・アセスメント・看護 心不全の要因・アセスメント・看護			講義		
11	循環機能障害 3	不整脈の要因・アセスメント・看護 高血圧・動脈硬化の要因・アセスメント・看護			講義		
12	循環器疾患を持つ患者の看護 1	心臓カテーテル検査 ペースメーカー治療 心臓リハビリテーション			講義	慢性心不全 認定看護師	
13	循環器疾患を持つ患者の看護 2	虚血性心疾患 心不全			講義		
14	循環器疾患を持つ患者の看護 3	弁疾患 不整脈			講義		
15	まとめ・試験					専任教員	
評価方法		筆記試験					
参考文献と資料		<p>テキスト：</p> <p>回数 1 （成人看護学各論の学び方）はテキスト不要</p> <p>回数2～14 看護過程に沿った対症看護（学研）</p> <p>回数2～8 呼吸器 成人看護学（2）（医学書院）</p> <p>回数9～14 循環器 成人看護学（3）（医学書院）</p>					
事前準備や受講要件							
☆担当教員の実務経験		①②③看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ④慢性心不全認定看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。					

授業 科目	成人看護学各論Ⅱ	担当 教員	専任教員☆① 外部講師☆ ②透析看護認定看護師 ③看護師 ④がん薬物療法 看護認定看護師 ⑤山田 成美	単位数	1	時期	2年次 4月～
				時間数	30		
<p>目的：機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、セルフマネジメントを必要とする人の看護の方法を理解する。</p> <p>目標：1) 内部環境調整機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、看護の方法を理解する。 2) 血液造血器機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、看護の方法を理解する。 3) 身体防御機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、看護の方法を理解する。 4) 性・生殖機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、看護の方法を理解する。</p>							
回数	学習課題	内 容			方法	担当教員	
1	内部環境調整機能障害 1	体液調節機能とその障害 腎不全の要因			講義	専任教員	
2	内部環境調整機能障害 2	内分泌機能とその役割 機能障害の要因			講義		
3	内部環境調整機能障害を持つ患者の看護 1	腎不全 透析療法			講義	透析看護認定看護師	
4	内部環境調整機能障害を持つ患者の看護 2	ネフローゼ症候群 前立腺肥大症（前立腺癌）膀胱癌			講義	看護師	
5	血液造血機能障害 1	造血機能とその役割・障害 貧血のアセスメント・看護			講義	専任教員	
6	血液造血機能障害 2	感染のメカニズム 易感染のアセスメント・看護 止血のメカニズム 出血傾向のアセスメント・看護 造血器腫瘍のアセスメント・看護			講義		
7	身体防御機能障害 1	生体防御機能とその障害 アセスメント・看護			講義	専任教員	
8	身体防御機能障害 2	免疫のメカニズム・免疫障害の要因・ アセスメント・看護			講義		
9	血液造血器疾患を持つ患者の看護 1	検査 化学療法・輸血療法 造血幹細胞移植			講義	がん薬物療法看護認定看護師	
10	血液造血器疾患を持つ患者の看護 2	白血病 悪性リンパ腫			講義		
11	性・生殖機能障害 1	性・生殖機能とその障害・看護			講義	山田	
12	性・生殖機能障害 2	女性不妊・男性不妊の原因と看護及び検査			講義		
13	女性生殖器疾患を持つ患者の看護 1	子宮鏡検査 ホルモン療法 診療介助 手術療法（開腹・経膈・腹腔鏡下）			講義		
14	女性生殖器疾患を持つ患者の看護 2	子宮がん 卵巣腫瘍			講義		
15	まとめ・試験						
評価方法		筆記試験					
参考文献と資料		<p>テキスト：</p> <p>回数 1～14 看護過程に沿った対症看護（学研） 回数 1～4 腎臓・泌尿器 成人看護学（8）（医学書院） 回数 5～6、9～10 血液・造血器 成人看護学（4）（医学書院） 回数 7～8 アレルギー 膠原病 感染症 成人看護学（11）（医学書院） 回数 11～14 女性生殖器 成人看護学（9）（医学書院）</p>					
事前準備や受講要件							
☆担当教員の実務経験		<p>①③看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。</p> <p>②透析看護認定看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。</p> <p>④がん薬物療法看護認定看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。</p> <p>⑤保健師・助産師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。</p>					

授業 科目	成人看護学各論Ⅲ	担当 教員	専任教員☆① 外部講師☆ ②脳卒中リハビリ テーション認定 看護師 ③看護師 ④理学療法士	単位数	1	時期	2年次 4月～
				時間数	30		
目的：機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、セルフケア再獲得を必要とする人の看護の方法を理解する。 目標：1) 脳・神経障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、看護の方法を理解する。 2) 運動機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、看護の方法を理解する。 3) リハビリテーションの意義について学び、その実際を理解する。							
回数	学習課題	内 容			方法	担当教員	
1	脳・神経機能障害 1	脳・神経機能とその障害			講義	専任教員	
2	脳・神経機能障害 2	頭蓋内圧亢進症状 意識障害の要因・アセスメント・看護			講義		
3	脳・神経機能障害 3	運動麻痺 運動失調の要因・アセスメント・看護 言語障害の要因・アセスメント・看護			講義		
4	脳神経疾患を持つ患者の看護 1	髄液検査 脳血管造影 開頭手術 血管バイパス術 低体温療法中の援助			講義	脳卒中リハビリ テーション認定 看護師	
5	脳神経疾患を持つ患者の看護 2	脳血管障害 脳腫瘍 パーキンソン病			講義		
6	運動機能障害 1	骨格系の運動機能とその障害 (大腿骨頸部骨折)			講義	専任教員	
7	運動機能障害 2	脊椎の運動機能とその障害 (椎間板ヘルニア)			講義		
8	運動機能障害 3	関節の運動機能とその障害 (変形性関節症)			講義		
9	運動器疾患を持つ患者の看護 1	脊髄造影検査 牽引療法 ギプス固定 副子固定			講義	看護師	
10	運動器疾患を持つ患者の看護 2	大腿骨頸部骨折 脊髄損傷			講義		
11	看護とリハビリテーションの実際 1	リハビリテーション看護概論 運動器系の障害とリハビリテーション看護			講義	理学 療法士	
12	看護とリハビリテーションの実際 2	中枢神経系の障害とリハビリテーション看護 1			講義		
13	看護とリハビリテーションの実際 3	中枢神経系の障害とリハビリテーション看護 2 呼吸・循環器系の障害とリハビリテーション看護			講義		
14	看護とリハビリテーションの実際 4	介助方法の実際 トランスファー			演習		
15	まとめ・試験					専任教員	
評価方法		筆記試験					
参考文献と資料		テキスト： 回数1～10 看護過程に沿った対症看護 (学研) 回数1～5 脳・神経 成人看護学 (7) (医学書院) 回数6～10 運動器 成人看護学 (10) (医学書院) 回数11～14 リハビリテーション看護 (医学書院) 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ (メヂカルフレンド社)					
事前準備や受講要件等							
☆担当教員の実務経験		①③看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ②脳卒中リハビリテーション認定看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ④理学療法士として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。					

授業	成人看護学各論Ⅳ	担当 教員	専任教員☆① 外部講師☆ ②看護師 ③皮膚排泄ケア認定看護師 ④放射線診療科医師 ⑤放射線診療科医師 ⑥がん看護専門看護師 ⑦がん薬物療法看護認定 看護師	単位数	1	時期	2年次 5月～
科目				時間数	30		

目的：機能障害発症の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、セルフケア再獲得を必要とする人の看護の方法を理解する。
 目標：1) 栄養代謝機能障害の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、看護の方法を理解する。
 2) 消化吸収機能障害の成り行きと症状の成因・関連要因を学び、看護の方法を理解する。
 3) 放射線検査・治療の特徴を学び、放射線療法の副作用症状への看護の役割を理解できる。
 4) 化学療法の概要を知り、看護の役割を理解できる。

回数	学習課題	内 容	方法	担当教員
1	栄養代謝機能障害 1	栄養代謝機能とその役割 高血糖・低血糖のメカニズム 糖尿病の要因・アセスメント・看護	講義	専任教員
2	栄養代謝機能障害 2	高脂血症の要因・アセスメント・看護 肝不全の要因・アセスメント・看護	講義	
3	消化・吸収機能障害 1	消化・吸収機能とその役割 食欲不振・嘔吐の要因・アセスメント	講義	専任教員
4	消化・吸収機能障害 2	吐血・下血の要因・アセスメント・看護 腹部膨満・便秘・下痢の要因・アセスメント・看護	講義	
5	消化機能障害・栄養代謝機能障害を持つ患者の看護 1	内視鏡検査 放射線検査	講義	看護師
6	消化機能障害・栄養代謝機能障害を持つ患者の看護 2	胃・十二指腸疾患 肝硬変 膵炎 潰瘍性大腸炎・クローン病 (生活指導)	講義	
7	皮膚・排泄ケアの実際 1	褥瘡の要因と予防 褥瘡の治療と看護	講義	皮膚排泄ケア認定看護師
8	皮膚・排泄ケアの実際 2	ストーマケア	講義・演習	
9	放射線検査の特徴	IVR MRI 核医学診断 超音波診断	講義	放射線診療科医師
10	放射線療法と健康管理	放射線療法における健康障害と健康管理	講義	放射線診療科医師
11	放射線療法を受ける対象への看護 1	放射線療法における看護の役割	講義	がん看護専門看護師
12	放射線療法を受ける対象への看護 2	放射線療法における看護の実際	講義・演習	
13	化学療法を受ける対象への看護 1	化学療法とは 化学療法における看護の役割	講義	がん化学療法看護認定看護師
14	化学療法を受ける対象への看護 2	化学療法における看護の実際	講義・演習	
15	まとめ・試験			専任教員

評価方法 筆記試験

参考文献と資料 テキスト：
 回数1～2 内分泌・代謝 成人看護学（6）（医学書院）
 回数1～6 看護過程に沿った対症看護（学研）
 消化器 成人看護学（5）（医学書院）
 回数7～8 皮膚 成人看護学（12）（医学書院）
 臨床看護総論 基礎看護学（4）（医学書院）
 回数9～12 臨床放射線医学（医学書院）
 回数11～14 がん看護学（医学書院）
 臨床看護総論 基礎看護学（4）（医学書院）

事前準備や受講要件等

☆担当教員の実務経験
 ①②看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。
 ③皮膚排泄ケア認定看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。
 ④⑤医師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。
 ⑥がん看護専門看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。
 ⑦がん薬物療法看護認定看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。

授業 科目	成人看護学各論Ⅴ	担当 教員	専任教員☆① 外部講師☆ ②糖尿病看護認定 看護師	単位数	1	時期	2年次 6月～
				時間数	30		
<p>目的：健康の保持・増進の重要性を理解し、健康上の諸問題を捉え、セルフマネジメントを支援する看護の実際を、問題解決の方法に基づき援助ができる能力を養う。</p> <p>目標：慢性期の事例を通して健康障害を持つ成人の看護を理解し、成人看護に必要な知識・技術を統合する。</p>							
回数	学習課題	内 容		方法	担当教員		
1	糖尿病看護の基本	糖尿病とは 糖尿病の基礎知識・疾患の理解・看護		講義	糖尿病看護認定看護師		
2	看護過程の展開1	看護過程の流れ データベースの記載		講義	専任教員		
3	看護過程の展開2	基本的欲求に基づく情報の分析・解釈1 事例の病態理解		講義			
4	看護過程の展開3	基本的欲求に基づく情報の分析・解釈2		講義			
5	看護過程の展開4	基本的欲求に基づく情報の分析・解釈3		講義			
6	看護過程の展開5	基本的欲求に基づく情報の分析・解釈4		講義			
7	看護過程の展開6	問題の明確化		講義			
8	看護過程の展開7	統合関連図 指導技術とは		講義			
9	看護過程の展開8	指導計画書立案1		講義			
10	看護過程の展開9	指導計画書立案2		講義			
11	看護過程の展開10	指導計画書立案3		講義			
12	看護過程の展開11	指導計画書立案4		講義			
13	看護過程の展開12	援助の実際1		演習			
14	看護過程の展開13	援助の実際2		演習			
15	看護過程の展開14	援助後の評価		講義			
評価方法		記録物（看護過程）による評価					
参考文献と資料		<p>テキスト：</p> <p>回数1～15 内分泌・代謝 成人看護学講座（6）（医学書院） 回数8 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学②（メヂカルフレンド社）</p> <p>参考図書 臨床検査（医学書院） 今日の治療薬（南江堂） 看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践（ヌーヴェルビカリ） ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問題リスト （ヌーヴェルビカリ）</p>					
事前準備や受講要件等		自己学習をして授業に臨む。常に事前学習ファイルを用意して授業に臨む。					
☆担当教員の実務経験		<p>①看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。</p> <p>②糖尿病看護認定看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。</p>					

授業 科目	成人看護学各論VI	担当 教員	専任教員☆① 外部講師☆ ②看護師 ③手術看護認定看護師 ④集中ケア認定看護師	単位数	1	時期	2年次 10月～
				時間数	30		
目的：周手術期看護・クリティカルケアを知り、臨床判断の基礎的能力を養う。 目標：1) 周手術期の特徴を知り、看護の方法を理解する。 2) 救急看護・集中治療を受ける患者の看護を理解する。 3) 臨床判断能力の概要を知り、必要な判断ができる。							
回数	学習課題	内 容			方法	担当教員	
1	手術を受ける患者の看護1	術前・術後の看護 胃切除 胆嚢摘出術			講義	看護師	
2	手術を受ける患者の看護2	乳房手術 人工肛門造設術			講義		
3	手術中の患者の看護	手術中の看護の要点 手術室における看護の展開			講義	手術看護認定看護師	
4	救急看護の特徴	救急患者の特徴 救急医療体制 救急看護と法的・倫理的側面 感染管理			講義	集中ケア認定看護師	
5	集中治療を受けている患者の看護	輸液ライン挿入中 気管内チューブ挿入中 気管切開・酸素療法・ME機器装着中 心臓手術			講義		
6	重症集中治療を受ける患者の看護	外傷 熱傷 中毒			講義		
7	臨床判断能力の基礎1	臨床判断モデルを求められる場面1			講義	専任教員	
8	臨床判断能力の基礎2 (1h)	臨床判断モデルを求められる場面2			講義		
9	臨床判断能力の基礎3	臨床判断モデルとは			講義		
10	臨床判断能力の活用1	周手術期事例の解釈・判断			講義		
11	臨床判断能力の活用2	状況の変化に応じた検温計画の立案			演習		
12	臨床判断能力の活用3	状況の変化に応じた援助計画の立案			演習		
13	臨床判断能力の活用4	臨床判断の実際 援助の実施1			演習		
14	臨床判断能力の活用5	臨床判断の実際 援助の実施2			演習		
15	臨床判断能力の活用6	実施後の省察・まとめ			講義		
16	試験 (1h)						
評価方法		回数1～6 筆記試験 40点 回数7～15 記録物 60点					
参考文献と資料		テキスト： 回数1～2 臨床外科看護各論 (医学書院) 回数1～3 臨床看護総論 基礎看護学(4) (医学書院) 回数3 臨床外科看護総論 (医学書院) 回数4～6 救急看護学 (医学書院) 臨床外科看護各論 (医学書院) 回数7～14 基礎看護技術I 基礎看護学② (メグカルフレッド社)					
事前準備や受講要件等		自己学習をして授業に臨む。					
☆担当教員の実務経験		①②看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ③手術看護認定看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ④集中ケア認定看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。					